

平成16年度春季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

— 今回からインターネット(J-STAGE)による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

平成15年度秋季大会より、J-STAGE（科学技術振興事業団）を利用して、インターネットによる講演申込受付及びPDFファイル形式による原稿の提出受付を開始することにいたしました。申込については、本会ホームページ「溶接学会 全国大会運営委員会のページ」

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/taikai/index.html> からお申し込み下さい。なお、今回から申込及び原稿提出は、J-STAGE利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正の電子化（試行）、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用の試行等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認下さい。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が各2週間程度に限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：11月11日 12：00～11月27日 14：00、

原稿提出期間：1月20日 12：00～2月5日 14：00

PDF原稿を作成する際には、PDFをプリントアウト

する等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要はJ-STAGEにて公開されますので、公開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

（注意事項）

- ①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますとインターネットの利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ②原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、1.2MBです。PDFファイル作成のためには、PDFファイル作成専用ソフトAdobe Acrobat（4.0以上のバージョン）をご利用下さい。無料配布ソフトAdobe Acrobat ReaderではPDFファイル作成ができませんので、ご注意ください。



平成16年度春季全国大会「研究発表」講演募集

— 今回からインターネット(J-STAGE)による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

概要集原稿の締切は皆様のご要望により事務処理期間を大幅に短縮し、申込締切と分離して大会2か月前とすることにいたしました。

従いまして、申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲

載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。



平成16年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしま

すから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日 平成16年4月21日(水), 22日(木), 23日(金)

開催場所 (財)日本教育会館(東京)

—講演申込募集—

1. **申込期間**：平成15年11月11日(火) 12:00～
11月27日(木) 14:00
2. **申込資格**：申込者は正員であること。連名の場合、講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません。
3. **申込方法**：前記学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までです。ご注意ください。
◎**講演登録料**：1件について4,000円をご納入ください。送金は現金書留郵便でお願いいたします。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。
※大会参加費(会員2,000円, 非会員4,000円, 学生無料)は大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集(5,000円)は別売となります。
※**受付済通知**：J-STAGEより受付番号が発行されますので保管しておいて下さい。
4. **原稿(PDF)提出期間**：平成16年1月20日(火)

12:00～2月5日(木) 14:00

5. **講演概要原稿**：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。
 6. **発表時間**：講演10分, 討論5分
 7. **講演申込の確認**：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。
 8. **講演申込の取り消しについて**
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。
 9. **付帯器具の申込み**：講演に必要な器具(フィルム映写機, VTR等)は遅くとも大会1カ月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。(OHP及び液晶プロジェクタは常備します。なお、操作は講演者側でお願いします。)
 10. **講演登録料送付先**：
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11
溶接学会 会計係
電話 (03) 3253-0488
- ※PDF(原稿)作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	項 目	備 考	分類記号 ・番号	項 目	備 考
A	溶接・接合プロセス	含機器	E	新材料接合部の諸特性	
	1 熔融溶接(1):アーク溶接, ガス溶接			1 セラミックス	
	2 熔融溶接(2):高エネルギービーム溶接			2 複合材料	
	3 圧接(1):抵抗溶接			3 機能材料	
	4 圧接(2):摩擦, 超音波, 爆接など			4 高分子材料	
	5 固相接合, 拡散接合		5 その他		
	6 接着, ウエルドボンド		F	溶接・接合部の強度・破壊と設計	
	7 ろう接:ろう付, はんだ付			1 溶接・接合部の応力,	
	8 マイクロ接合			2 溶接・接合部の静的強度	
	9 機械的接合:リベット, ボルト継手など			3 破壊靱性, き裂(発生, 進展)	
10 その他	4 疲労強度, 疲労き裂				
B	表面改質及び熱加工プロセス	含機器	5 環境強度, クリープ		
	1 成膜(1):肉盛, 溶射, めっき		6 溶接・接合設計(強度計算など)		
	2 成膜(2):PVD, CVD, イオンミキシング		7 信頼性, 安全性評価		
	3 成形:焼結, HIP, 鋳ぐるみなど		8 劣化診断, 寿命予測		
	4 切断, ガウジング, 穴あけ加工など		9 その他		
5 その他:焼き入れ, グレージング, 封孔処理など	G	品質保証, 施工管理			
C		制御・システム工学	1 品質保証, 工程設計など		
		1 センサ, モニタ, 計測技術	2 安全・衛生, 教育, 訓練		
		2 インプロセス制御技術, 品質制御技術	3 非破壊検査, 同機器		
	3 ロボット工学・技術	4 生産設備など			
	4 自動化, システム化技術	H	接合技術の新しい展開		
	5 CAD, CAM, FA		1 新接合技術		
6 その他:新技術, 新システムなど	2 新熱源開発, 同応用				
D	金属材料の溶接・接合部, 表面改質部の特性		3 新素材開発		
	1 溶接・接合部並びに表面改質部の物理化学		4 加工技術		
	2 溶接・接合部並びに表面改質部の組織及び機械的性質	5 その他			
	3 耐食性, 耐環境性	I	溶接・接合技術の各産業分野への展開		
	4 低温割れ, 高温割れ, 応力腐食割れなど		1 製品開発		
	5 気孔, スラッグ巻き込みなどの欠陥		2 生産, 製造, 施工, 組立など		
6 その他	3 その他				

全国大会講演概要原稿執筆要領 (講演番号をご記入ください)

— 今回よりPDF原稿のみとなります。 —

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版 (約2/3) に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定 (又は、指定フォーマット) のものに限りませ

す。
1 ページ目は、題目、勤務先 (研究場所)、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙 (A) を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)、勤務先、著者名 (和英両文)、キーワード (和英両文) 本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚 (A, B) にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40字×37行×2枚=2,960字 (タイトル等に約360字、本文は約2,600字) です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード、講演番号

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違のないように記載して下さい)

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように3~5ワード書いて下さい。

キーワード: アーク, 凝固, 割れ, 疲労

Keywords: arc, plasma, physics

PDF ファイルを作成する場合は、講演番号 (受付番号ではありません) をご記入ください。講演番号は大会プログラム校正画面 (<http://www.jpp.co.jp/yosetu>) にてご確認ください。

ロ. 本文

原稿用紙 (A) 12行目から (B) いっぱいに原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいに

コマ数 (40字×37行) だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。鉛筆書きは、原稿取り扱い中に消滅の恐れがあることと刷り上がりがよくないので使用しないでください。また、ボールペンも字の輪郭がぼやけ、刷り上がりが汚くなる場合があります。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約2/3に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

八. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺 (約2/3) を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが2/3になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo でなく Fig. としてください)

4. 校正

校正は (著者、編集者とも) いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。書き損じた場合は、用紙を汚さないよう注意して修正してください。

(汚れはそのまま刷り上がりますので、白色の修正液を用いるか、できるだけ原稿用紙と同質同光沢の用紙を貼って修正してください。紙を貼って修正する場合、下の字が透けないよう注意してください。)

5. 原稿の提出

全国大会研究発表講演募集要領 (会誌2号、6号で会告します) に従って期日までご提出ください。

なお、原稿を郵送する場合は、折れ曲がらないように厚紙を添え、封筒の表に講演番号を明記し、「全国大会講演概要原稿」在中と書いてお送りください。

〔原稿見本〕 サイズは 巻末参照

()

プラズマ溶接の研究

12pt, 明朝体

↑
講演番号
(発表者で記入)

16pt, 半角
ゴシック

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦
世界電機(株) 夏川 春樹

10.5pt

Study on Plasma Welding

10.5pt

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→

本研究は，プラズマジェットを用いる溶接法について……

10.5pt

↑
1～2字アケル

平成16年度 全国大会講演申込手順

〔講演申込手順〕

1. 申し込みは、学会ホームページのお知らせにある大会講演申込の案内にある **講演申込** をクリックして下さい。

講演申し込み画面が表示されます。

2. 申し込み画面では、「新規登録及」と「登録内容確認」が表示されています。最初は「新規登録」をクリックしてください。

入力の前に、新規登録及び登録内容確認についての説明が記載されておりますので必ずお読みいただき、操作上の注意事項を確認の上入力を開始してください。登録後に登録内容確認などを行うには受付番号と登録時に入力したパスワードがないと作業が行えませんので必ず保管下さい。当学会事務局では受付番号の確認はできますが、パスワードはわかりませんので、お問い合わせされる場合はご注意下さい。

3. 〔登録票／件数入力〕の画面では、まず、表記されている注意事項を先にお読みいただいてから入力を行って下さい。【必】のところは入力されないと次の画面へ進めません。入力する枠には半角の数字を入力下さい。入力が済みましたら **次へ** をクリックして下さい。

演者数とその合計所属数及びキーワードを最初に入力します。この数字は次画面からの入力欄をいくつ

表示するかを指定するものです。

4. 〔登録票／所属機関〕の画面では、「件数入力」で入力した数字分の所属機関数が表記されます。この部分も【必】扱いですので、全項目省略しないで入力下さい。

所属は、研究者すべての所属を入力します。公開時に日・英両方表示することができますので、希望される方は日本語、英語両方入力してください。

5. 〔登録票／研究者情報〕の画面では、「件数入力」で入力した数字分の研究者数が表記されます。
 - (1) 会員情報の「会員区分」ではプルダウンメニューから選択します。右にある下向き矢印をクリックして選択を行って下さい。
 - (2) 「所属」は〔登録票／所属機関〕で入力したものが表示されます。選択されたものが誤っている場合は、**戻る** をクリックし、入力をしなおして下さい。

6. 〔登録票／連絡者情報〕の画面では、連絡者に関する情報を入力します。

氏名、所属は、前の画面で入力した情報が自動表示されます。前の画面で「その他」を選択した場合は、自動表示されませんので氏名、所属から入力してください。

電子メールアドレスは、登録終了後、受付完了のメ

ールが送られてきますので、必ず入力していただきます。メールアドレスは、J-STAGE から受付番号などをお知らせしますので間違えないように入力してください。

全項目入力できましたら **次へ** をクリックして下さい。

7. [登録票／演題情報] の画面では、演題情報を入力します。

「演題分類」をプルダウンメニューから選択して下さい。「発表形式」もプルダウンメニューから選択して下さい。「演題名」は講演原稿と同じものを入力して下さい。

パスワードは「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

全て入力が完了しましたら、**確認** をクリックして下さい。不安がある箇所があれば **戻る** をクリックして前画面にもどって確認下さい。

* 演題名、要旨については Web 画面で表示するための<タグ>が使用できます。<タグ>は、<I>、<SUP>、<SUB>、
を使用することができます。

8. **確認** をクリックすると、[登録票／登録票入力確認] の画面が表示されます。登録内容に誤りがないことを確認して **登録** ボタンを押して下さい。これですべての入力作業は終了です。
9. 正常に登録されました [登録票／登録完了] の画面が表示されます。この画面では受付番号が表示されます。受付番号はパスワードとともに、「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

<補足説明>

- ・投稿情報は、公開される情報になることから、入力内容の確認画面では投稿者は十分な確認をしたのち「登録」をクリックしてください。
- ・登録が正常に行われましたら、J-STAGE から受付完了のメッセージが表示されます。6桁の受付番号も表示されますので、忘れないように控えておいてください。
注：変更処理等では、受付番号とパスワードを入力することになりますが、このときの受付番号は、先頭が0であっても6桁固定として入力してください。
- ・<タグ>を使用した場合の公開データの確認は、「登録内容確認」で表示イメージの確認により確認してください。
- ・登録締め切り後の変更はできませんので、締め切りまでに登録時の確認画面もしくは「登録内容確認」により必ず確認をしてください。
- ・登録締め切り直前（最終回）は、申込が殺到し入力しにくくなります。お早めに申込ください。

《画面構成》

1. 新規登録受付／工程選択（トップページ）
2. 登録票／言語選択
3. 登録票／件数入力
4. 登録票／所属機関
5. 登録票／研究者情報
6. 登録票／連絡者情報
7. 登録票／演題情報
8. 登録票／登録票入力確認
9. 登録票／登録完了



全国大会講演プログラム校正の電子化(試行)について

— 今回よりホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧を試行しておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛にEメールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等によりEメールが未着の場合にも、1月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アcroバトリーダー。バージョン4.0以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）
無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>
また、現在アcroバトリーダーバージョン3.0の方は4.0にアップグレードしてください。

3. 開示場所

<http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛FAX (03-3253-3059) にて送信ください。Eメールでの送信はご遠慮ください。

5. アcroバトリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) 電算室

Tel 06-6441-0075 Eメール kobayasi@jpp.co.jp

平成15年度秋季全国大会における液晶プロジェクターの 利用について

— 今回より切替器を導入します —

全国大会運営委員会

平成13年度溶接学会秋季全国大会より、液晶プロジェクターの利用を試行しておりますので、今秋季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守するとともに、トラブルがあった場合には、OHPシートによる発表に切り換えさせていただくことをご了承の上ご使用ください。なお、今回よりパソコン持参者のために切替器を準備しておりますので、併せてご利用ください。

記

全国大会運営委員会準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ
- 2) パソコン
- 3) モニタ切替器

発表者の準備するもの

- 1) パワーポイントで作成した発表用のファイル
(ISO9660形式)
メディアはCDとし、ファイル名は次のように付けておいてください。
講演番号+発表者氏名.ppt
- 2) OHPシート

※休憩時間の間に液晶プロジェクタに接続したパソコンに、発表者ご自身で発表用のパワーポイントファイルをコピーしていただきます。

※トラブルがあった場合には、OHPプロジェクターによる発表に切り換えさせていただきますので、OHPシートも必ず準備しておいてください。

平成16年度春季全国大会フォーラム論文募集

主 題：「薄板接合の最近の展開とその周辺」

座 長：片山 聖二（大阪大学 接合科学研究所）

笹部 誠二（(株)神戸製鋼所）

開催趣旨

溶接の分野では、電気・電子や自動車業界等をはじめとして、製品の機能向上や生産性向上などに向けた各種取り組みが行われ、薄板や小型微細部品の高品位・高性能・高機能な精密接合法の確立が叫ばれてきています。特に、最近、従来の接合技術である抵抗溶接、アーク溶接、レーザー溶接などでも、装置の改善・改良が計られ、薄板・小型部品の溶接・接合の研究・適用事例が増加しています。また、摩擦圧接、摩擦攪拌接合（FSW）、メカニカル接合、接着なども、薄板・小型精密微細部品の接合に適用されつつあります。そこで、本フォーラムでは、薄板・小型部品の溶接・接合法の現状と今後の新たな展開を計るため、各種溶接・接合法での最新の接合技術の開発状況、各種製品分野での適用の現状と接合方法への期待などの報告を基に、薄板の溶接・接合法とその周辺の展望を議論したいと考えて企画致しました。薄板・小型部品の溶接・接合法について研究・検討されている方

やこんな観点からぜひ公開したいという情報や意見をお持ちの方の講演申込をお願い申し上げます。

記

日 時：平成16年4月21日（水）～23日（金）

会 場：日本教育会館（東京）

申込方法：著者名、タイトル、概要（400字程度）、連絡先を明記した上、メール（jws-ym@kt.rim.or.jp）またはファックス（03-3253-3056）で溶接学会事務局へお申込み下さい。

申込締切日：平成15年10月31日

講演採否：お申込みいただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します。

原稿締切日：平成16年2月1日

（採択された講演者には、所定の書式に従って作成した原稿を、平成16年2月1日までに提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集No.74に掲載致します。なお、講演時間は、1件約15分～30分程度を予定しています。原稿作成・講演方法などの詳細は座長より連絡致します。）

第29回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会)

「自動車関連分野の最新溶接技術」

主催：(社)溶接学会 東部支部
共催：(社)溶接学会 東部支部・群馬地区、(社)日本溶接協会群馬県支部、北関東産官学研究会
協賛：日本鉄鋼協会、日本鋼構造協会、ステンレス協会、日本非破壊検査協会、軽金属溶接構造協会、日本溶接技術センター、産報出版(株)、自動車技術会、日本工業出版、日本機械学会、日本ロボット学会(順不同、含依頼中)

趣旨：技術の進展ならびに社会構造の変化に伴い、溶接技術の教育、修得の機会が著しく少なくなり、製造業にとっても溶接技術者の確保が困難な状況になっているように思います。本講座は、例年1回2日間て集中して行っていたものですが、本年は実際の見学も重要であろうとの観点から、2回に分け、1回は見学会を中心に、もう一回は講義を中心に開催することにしました。御案内しております本講座は、見学会を中心にしたもので、とくに自動車関連の最新の溶接技術について、見学会・講演・座談会を通じて見聞を広げるとともに、溶接技術の知識を身につけていただくとするものです。是非多くの皆様のご参加をお願いいたします。

開催日時：平成15年10月24日(金)

12:45～17:00

開催場所：富士重工業株式会社 群馬製作所 矢島工場
スバルビジターセンター
(群馬県太田市庄屋町1-1 Tel:0276-48-3101)

内容：

12:45 開会の挨拶(東部支部支部長)

13:00～13:40

講演「新型レガシィにおける溶接技術の実際」
富士重工(株) 群馬製作所 高橋邦明

13:40～15:10 座談会「溶接組立て現場での問題点」

話題提供者：富士重工業、関連企業

コメンテータ：自動車メーカー、溶接器メーカー、学識経験者

15:10～15:20 休憩

15:20～16:40 見学会「溶接工程を含めた生産ライン」

16:40～17:00 質疑応答、閉会の挨拶

定員：120名

参加費：3,000円(当日受付)

交通：東武鉄道・東部浅草駅(りょうもう9号10:40発)

東部太田駅(12:00着)

北口バス乗り場(12:10発)

富士重工矢島工場入り口下車(12:25着)

徒歩10分で会場着

申込締切：平成15年10月10日(金)

申込方法：下段の申込用紙に必要事項を記入の上、下記へ郵送、Fax またはメールで申し込みください。受理された方には参加証を送付しますので当日持参下さい。

申込先：〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

群馬大学工学部機械システム工学科

楠元 一臣

Fax/Tel:0277-30-1588

Email:kusumoto@me.gunma-u.ac.jp

----- 切り取り -----

群馬大学工学部機械システム工学科 楠元一臣 殿
Fax:0277-30-1588

第29回実用溶接講座(見学会)申込書

(申込日: 月 日)

(ふりがな) 受講者名:	会員資格(○をお付け下さい) 賛助会員 正会員 学生会員 非会員
勤務先/会社名・所属部課名:	
勤務先住所:〒	
Tel: Email:	Fax:
連絡先(上記以外)	
その他問合せ事項:	

熊本大学 工学部知能生産システム工学科教員公募

1. 募集人員 助教授1名
2. 所属学科 知能生産システム工学科 知能機械設計学講座
3. 専門分野 接合加工の解析, 知能化および新技術開発等, 接合加工技術の新規分野に繋がる研究分野
4. 担当科目 学部の接合加工・機械強度・機械設計関連科目および大学院の生産技術関連科目等
5. 応募資格
 - (1) 学位: 博士の学位を有すること
 - (2) 年齢: 満40歳程度まで
 - (3) 実績・能力
 - ・専門分野に優れた能力または研究業績を有すること
 - ・国内的, 国際的な視点から地域社会や産, 官界と連携して活動できること
 - ・学部および大学院における教育・研究および学科の運営に対して熱意を有すること
 - ・新しい研究分野を切り開いていこうとする意欲が旺盛であること
 - ・英語による講義ができること
 - ・外国人の場合には, 学内の業務の遂行が可能な日本語運用能力を有すること
6. 着任時期
平成16年4月1日(木)までのできるだけ早い時期
7. 応募書類
 - (1) 履歴書(市販のもので可, 写真を添付すること, 連絡先に E-mail アドレスも記入のこと)
 - (2) 業績リスト(査読付専門誌論文, 国際会議録, 紀要, 解説, 著書, 特許, 講演, 学会賞の受賞, 研究費導入実績, 教育実績等に区分すること)
 - (3) 主要論文5編の別刷
 - (4) これまでの研究の概要(A4用紙に2000字以内)
 - (5) 教育および研究への抱負(A4用紙に各1000字程度)
 - (6) 本人についての所見を求め得る人の氏名・職・連絡先など
8. 応募期限 平成15年11月16日 必着
9. 選考方法 書類による選考のほか, 必要に応じて来学の上, 面接を受けて頂きます。
(12月10日頃まで)
10. 書類提出先
〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1
熊本大学工学部知能生産システム工学科
機械コース学科長 安井平司
封筒に「応募書類在中」と朱書し, 簡易書留で送付してください, 提出書類は返却しません。
11. 問い合わせ先
熊本大学工学部知能生産システム工学科 里中 忍
電話 096-342-3736
E-mail satonaka@mech.kumamoto-u.ac.jp

平成15年度溶接冶金研究委員会シンポジウム

「溶接冶金研究の進歩と今後の展望」参加募集

日時：平成15年11月25日（火）10：00～16：45

会場：化学会館（東京・お茶の水）7F ホール

東京都千代田区神田駿河台1-5

TEL: 03-3292-0120（直通）

主催：（社）溶接学会 溶接冶金研究委員会

協賛：軽金属学会，軽金属溶接構造協会，高温学会，自動車技術会，ステンレス協会，精密工学会，石油学会，土木学会，日本铸造工学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本原子力学会，日本高圧力技術協会，日本材料学会，日本接着学会，日本造船学会，日本鉄鋼協会，日本非破壊検査協会，日本溶接協会，表面技術協会，腐食防食協会（依頼中を含む）

開催趣旨：

これまで溶接冶金研究委員会では，溶接に伴う諸問題に対して，主として材料科学的な見地から検討し，メカニズムの解明と問題の解決を図るための討論の場として活動を続けてまいりました。その活動と研究状

況の把握を目的に，1978年「溶接冶金（レビュー）上・下」を発刊し，溶接冶金現象や溶接欠陥及び特性の変化に関する集録を行いました。その後も溶接冶金に関する研究は質的量的にさらに大きく進歩を続けており，前回レビューから約25年を経た今，それらを新たに整理しまとめることが必要な時期となってまいりました。そこで，当研究委員会では，このたび新たなレビューとして溶接学会技術資料「溶接冶金研究の進歩と今後の展望」（プリテン No.15）を完成致しました。本シンポジウムでは，このプリテン No.15 をテキストとして，溶接材料学的研究の経緯と現状ならびに最近の展開を解説します。会員各位ならびに関係技術者の方々の多数の参加を期待しております。

プログラム：

10:00-10:45 溶接冶金研究の進歩（総論）
西本和俊／大阪大学

10:45-11:30 溶接部の凝固現象とその関連現象
小関敏彦／東京大学

- 11:30-12:15 溶接金属および溶接熱影響部の組織
井上裕滋／新日本製鐵(株)
- 12:15-13:30 昼 食
- 13:30-14:15 溶接割れ 篠崎賢二／広島大学
- 14:15-15:00 溶接部の特性
小川和博／住友金属工業(株)
- 15:00-15:15 休 憩
- 15:15-15:45 高エネルギービーム溶接
片山聖二／大阪大学
- 15:45-16:15 摩擦攪拌溶接 粉川博之／東北大学
- 16:15-16:45 拡散接合，放電焼結接合
才田一幸／大阪大学

シンポジウム参加申込方法：

1. 申込方法：適宜用紙に，会社名・所属・氏名・TEL・FAX・e-mail アドレスを記入し下記宛に FAX，電子メールまたは郵送でお送り下さい。
※受付後，折り返し参加証を送付いたしますので，シンポジウム当日は，参加証を必ずお持ち下さい。
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11
(社) 溶接学会 溶接冶金研究委員会シンポジウム

事務局 松尾
TEL：03-3253-0488
FAX：03-3253-3059
E-Mail：jws-ym@kt.rim.or.jp

2. 申込締切日：平成15年11月18日（火）
3. 参加定員：参加定員は120名です。定員になり次第締め切らせていただきます。
4. 参加費用：

溶接冶金研究委員会メンバー	15,000円
溶接学会員および協賛学協会員	20,000円
一般参加	25,000円
学生	5,000円

※いずれもテキスト（溶接学会技術資料ブリテン No.15）代金（10,000円/部）を含みます。
5. 参加費用送金先：参加費用は下記のいずれかにご送金下さい。
 - UFJ 銀行 秋葉原駅前支店
普通預金 No.808850
口座名義 社団法人 溶接学会
 - 郵便振替口座 00180-7-143434
口座名義 社団法人 溶接学会

Mate 2004 第10回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」 シンポジウム論文募集について

主催：(社)溶接学会 マイクロ接合研究委員会
エレクトロニクス生産科学会準備会(仮称)

共催：(社)機械学会 電子デバイス/電子実装における信頼性に関する研究分科会
(社)高温学会 加工・再生研究情報委員会
(社)日本塑性加工学会 接合・複合分科会
レーザ加工学会
技術研究組合 超先端電子技術開発機構(ASET)
電子SI技術研究部
IMSプロジェクト 環境対応次世代接合技術の開発
大阪大学 先端科学技術共同研究センター

協賛：映像情報メディア学会, エレクトロニクス実装学会, 応用物理学会, 化学工学会, 画像電子学会, 軽金属学会, 計測自動制御学会, 高温学会, 高分子学会, 資源・素材学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 精密工学会, 電気化学会, 電気学会, 電気設備学会, 電子情報通信学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料学会, 日本シミュレーション学会, 日本接着学会, 日本セラミックス協会, 日本塑性加工学会, 日本電子顕微鏡学会, 日本伝熱学会, 日本非破壊検査協会, 日本表面科学会, 日本品質管理学会, 日本複合材料学会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 日本溶

接協会, 表面技術協会, プラスチック成形加工学会(協賛依頼中)

日時：平成16年2月5日(木),
6日(金)(予備日:4日(水))
パシフィコ横浜 会議センター
5階(小ホール, 501, 502)
横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
TEL:045-221-2121

開催主旨

日本のエレクトロニクス産業は、この20年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションが必要になってきています。本シンポジウムでは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

参加費：主催・共催団体加入会社 : 20,000円
協賛学協会会員会社 : 30,000円

論文口頭発表者	: 15,000 円
大学・国公立研究機関	: 10,000 円
学生	: 5,000 円
その他	: 40,000 円

講演論文募集

左記主旨に従い、シンポジウムを開催いたします。つきまして、独創性に富むオリジナル講演論文を募集しております。各講演の発表時間は20分（発表12分、質問8分）、発表件数は約90件を予定しております。投稿希望の方は下記の送り先まで、応募していただくようお願い申し上げます。

なお、本シンポジウムで発表されたすべての論文発表者には、別刷り30部を無料贈呈します。また、優秀な論文に対して、シンポジウム賞（論文賞、奨励賞）の表彰制度も用意しております。

応募締切：平成15年9月1日（月）厳守

応募方法：次の必要事項を記載して、E-mail, FAX, 郵送のいずれかで Mate 2004 事務局に送付して下さい。

E-mail を利用できる方はできるだけ E-mail で送付していただけますようお願いいたします。

- (1) 発表題目（和文と英文）
- (2) 著者名と所属先（和文と英文）
- (3) 著者代表者の連絡先
- (4) 概要（和文 120～150 字程度）
- (5) トピックス記号（カテゴリー A～C の中から該当する記号を選んで下さい）

例えば、

レーザーによる微細加工プロセスに関する研究

=> A-5, B-1

携帯機器創成を目的としたソルダリング部の信頼性の研究 => A-2, B-7, C-6

申込みを受理した後 1 週間以内に E-mail もしくは FAX で受理通知を送付させていただきます。

受理通知が届かない場合は、Mate 2004 事務局にご確認して下さい。

トピックス記号

カテゴリー A 工 法	カテゴリー B 研究・開発の観点	カテゴリー C 対象形態・製品
A- 1 マイクロ接合 ワイヤボンディング フリップチップ COB, TAB その他	B- 1 プロセス B- 2 材料 B- 3 機能特性 B- 4 メカニズム B- 5 拡散現象	C- 1 モジュール C- 2 パッケージ C- 3 パワーデバイス C- 4 エネルギー変換素子 C- 5 通信機器
A- 2 マイクロソルダリング	B- 6 界面構造	C- 6 携帯機器
A- 3 薄膜形成	B- 7 信頼性	C- 7 コンピュータ
A- 4 厚膜形成（めっきなど）	B- 8 品質	C- 8 コンピュータ周辺機器
A- 5 ビーム加工	B- 9 シミュレーション	C- 9 液晶ディスプレイ
A- 6 エッチング	B-10 設計	C-10 プラズマディスプレイ
A- 7 マイクロ加工	B-11 設備・機器	C-11 ビデオ
A- 8 塑性加工	B-12 解析	C-12 自動車用電装品
A- 9 接着	B-13 システム	C-13 エネルギー変換機器
A-10 光・電子アセンブリ	B-14 計測	C-14 その他
A-11 光インターコネクション	B-15 環境調和・リサイクル	
A-12 その他	B-16 その他	

また、論文採択につきましては別途、採択通知を9月末までに送付いたします。

論文原稿送付締切日：平成15年11月20日（木）

論文様式概要

本文は日本語で、Figure Caption は英語で記述する。ただし、すべて英語で記述しても結構です。

○字 体：英語の字体（フォント）は Times, 日本語の字体は明朝体とする。

○題 目：本文が日本語の場合、日本語と英語（字サイズ：14point, 題目の字体は等幅明朝体またはゴシック体とする）。

○著者名：本文が日本語の場合、日本語と英語（字サイズ：9point）。

○Abstract：英語（60～120words）（字サイズ：8 or 9point）。

○本 文：日本語または英語（字サイズ：9point）、本文二段組。

○マージン：上：25mm, 下左右：20mm。

○用 紙：A4 白用紙。

○図の説明：英語（図面は本文の後ろに並べてもよい）。

○ページ数：4 ページ または 6 ページ（奇数ページの仕上がりは禁止する）。

なお、論文採択決定後、詳しい投稿規定を送付します。

<論文に関する問合せ先>

大阪大学 接合科学研究所 高橋康夫

Tel.06-6879-8658 Fax.06-6879-8689

E-mail:taka@jwri.osaka-u.ac.jp

<論文の送付先, 事務に関する問合せ, 連絡先>

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

（社）溶接学会 Mate 2004 事務局

Mate 2004 担当連絡先

TEL: 06-6879-8698 FAX: 06-6878-3110

E-mail: mate@jwri.osaka-u.ac.jp

<シンポジウム URL>

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/research/micro/mate/Mate2004.html>

ミニ研究会/溶接学会記念基金助成研究テーマの募集

溶接学会では研究活動のより活性化を図る為、従来の特別研究会、アドホック研究会に加え、少人数（7～8名以内）で若手中心（30歳台以下）のミニ研究会を作り、学会資金による研究助成を「MeRIT 21」研究活動活性化プログラムの中で実施する。

<趣旨>

日本を最先端工業立国にする方策として基幹的技術開発を産官学で推進する為に学会の果たす役割は大きい。溶接学会では「MeRIT-21」活動の中で研究活動のいっそうの活性化により、溶接・接合技術の高度化を図り日本では出来ない高付加価値産業を創生する為、自由な独創的研究を支援する。本ミニ研究会はいままでの溶接学会の範疇を超えたあらゆる素材の接合、結合とその分離技術のナノレベルからの解明と構造設計、生産性向上、IT化等の研究テーマを広く公募し、溶接学会活動として公開する。

<ミニ研究会の特徴>

気軽にすばやく簡単に研究 G を作り研究を推進

(1) 研究会の構成 = 7～8名以内

比較：特別研究会 = 30名以内、アドホック研究会 = 15名以内

(2) 若手中心 = 研究会の責任主査は30歳台以下とする。

(3) 実施件数 = 5件/年程度

<具体的進め方>

1. 研究テーマの募集

本研究に応募される方は平成15年10月31日までに研究計画書（A4一枚+添付資料）を学会事務局に提出ください。その後研究推進部会で審査、5件程度を選出し該当者に連絡します。選出された研究テーマは溶接学会誌、ホームページ上に公開します。研究期間は原則一年間の時限とし毎年度見直していく予定です。

2. 研究 G の構成と応募資格

主研究者 = 応募者は溶接学会正員で年齢30歳台以下とする。研究 G 員として従来の溶接技術領域の幅を広げる意味から溶接学会会員以外の研究者が加わることが望ましい。実施テーマ決定後に研究 G に加わりたい企業、研究者の参加を募り、ニーズとシーズを結びつけることにより、研究領域と研究者を拡大することが望まれる。

3. 研究助成金と溶接学会への研究成果のアウトプット義務

1件につき30万円/年の研究助成を行なう。各研究 G の成果報告としては溶接学会全国大会あるいは溶接学会主催の講演会、セミナー等での研究報告を一年以内に実施することを義務とする。なおテーマ内容、活動構成によっては時限の延長、さらなる溶接学会からの資金援助も可能とする。

<問い合わせ先>

溶接学会/鈴木正文

Tel : 03-3253-0488, E-mail : jws-ms@t3.rim.or.jp



社団法人 溶接学会

特別研究会、アドホック研究会並びにミニ研究会内規

平成10年2月10日制定

平成15年6月20日一部改定

(設立目的及び内容)

1. 本会の研究活動を充実強化し、もって会員の研鑽に資するため、特定のテーマについて研究する特別研究会、アドホック研究会並びにミニ研究会を設ける。特別研究会は広範な分野を包括するテーマを取り扱う。

アドホック研究会は時宜を得た、緊急に解決すべきテーマを取り扱う。

ミニ研究会は30歳台以下の若手研究者を主査とした公募公開テーマ研究を5件／年程度取り扱う。

(設置、改廃)

2. 研究会の設置並びに改廃は、研究推進部会の議に基づき理事会が決定する。
3. テーマは、会員（賛助員を含む）からの自主提案又は公募により研究推進部会が選択する。
ミニ研究会は年度ごとに定期的に公募を実施する。

(会期)

4. 研究会の設置期間は以下のとおり。
特別研究会は2年以内を原則とする。ただし、必要と認められた場合は1年に限り延長することができる。
アドホック研究会及びミニ研究会は1年以内を原則とする。ただし、必要と認められた場合は短期間に

限り延長することができる。

(構成、運営)

5. 研究会は主査，副査，幹事及び委員によって構成する。

人数は特別研究会は30名以内，アドホック研究会は15名以内，ミニ研究会は7～8名以内を原則とするが，ミニ研究会は活動開始後テーマを溶接学会ホームページ上に公開し，賛助員企業の参加を積極的に受け入れるものとする。

研究会の構成については，研究推進部会の承認を必要とする。

6. 主査は研究会を代表し活動を統括する。副査は主査を補佐し必要な時はその職務を代行する。幹事は研究会の運営を円滑に行うため必要な会務を担当する。
7. 研究会の運営についてはそれぞれの自主性によって行うこととする。

(資金)

8. 研究会の運営資金は本会会計から支弁する。
その額は研究推進部会の提案に基づき理事会が決定する。ただし，必要な時は研究推進部会の承認を得て別途調達することができる。

ミニ研究会は次世代を担う若手研究者を育成する為，溶接学会記念基金より1件30万円／年の助成を原則とする。

(報告)

9. 特別研究会主査は，毎年度終了時に活動状況報告及

び会計報告を研究推進部会に提出しなければならない。

アドホック研究会及びミニ研究会主査は，研究活動終了時に活動状況報告及び会計報告を研究推進部会に提出しなければならない。

研究会終了に際し剰余金が生じた場合は，研究推進部会はこれを次の研究会の資金に充当することができる。

10. 特別研究会は，その事業終了に際しシンポジウムを開催して研究成果を公表しなければならない。

アドホック研究会は，その事業終了に際し本会誌あるいは全国講演大会において研究成果を公表しなければならない。

ミニ研究会は，その事業終了に際し全国講演大会又は本会主催の講演会，セミナー等において研究成果を一年以内に公表しなければならない。

(内規の改廃)

11. この内規の改廃は，研究推進部会の議を経て理事会の承認を必要とする。

付 則

1. この内規は，理事会の承認により平成15年6月20日から施行する。
2. 特別研究会内規は，本内規施行に伴い廃止する。